

投信の突然変異
スーパーレバナス降臨?
レバレッジ運用の新しい形?

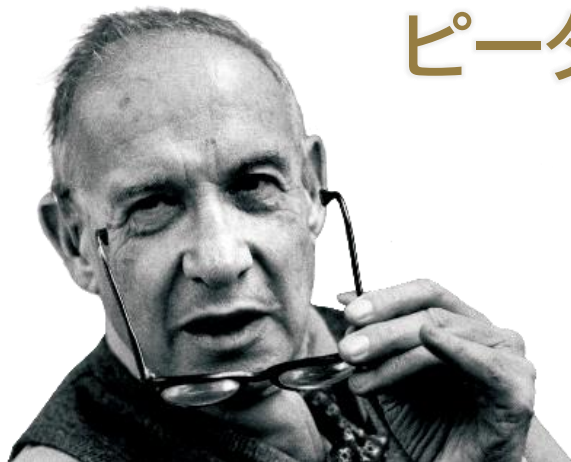
レバレッジ
ドラッカー研究所
米国株ファンド



レバレッジ・ドロッカー研究所 米国株ファンド


設定日	2022年12月20日
基準価額	35,392円 ※2024年6月12日時点
ベンチマーク	無し ※アクティブファンド
レバレッジ	2倍(為替も2倍)
実質的な運用管理費用	年率2.0325%(税込)程度 ※連動債券の報酬等を含めたものです。実際の組入状況等により変動します。
信託期間	2027年12月17日まで

ドラッカーってどんな人？



ピーター F. ドラッカー (1909年11月19日～2005年11月11日)

オーストリア・ウィーン生まれの経営学者。
「現代経営学」あるいは「マネジメント」の発明者であり、「**マネジメントの父**」と呼ばれ、日本だけでなく世界中の経営者が影響を受けている。
「マネジメント【エッセンシャル版】基本と原則」は、世界各国で翻訳された代表作。日本でもミリオンセラーとなっている。

 ドラッカーの没後、ドラッカー研究所が彼のアイデアと理想を受け継ぎ、実現したスコアがドラッカー研究所スコア。



現代も受け継がれるドラッカーの功績！



マネジメントを体系化した第一人者

天才的な指導者のマネジメント能力を分かりやすく分解し、体系化

- 真摯さ
- 目標設定能力
- 組織化能力
- コミュニケーション能力
- 問題解決能力
- 評価測定能力



誰でもマネジメントが行なえるように改革。

世界中の組織に影響を与えた。



「ステークホルダー資本主義」を50年以上も前から提唱

近年、顧客、従業員、地域社会といったすべてのステークホルダーへの配慮を欠かすことはできない。という「ステークホルダー資本主義」の重要性が高まっている。
ドラッカーは、このような**包括的かつ人間論的な経営モデルの必要性を今から50年以上前の1954年から説き始めた。**

ステークホルダー資本主義(イメージ)



(出所)ドラッカー研究所、各種資料より大和アセットマネジメント作成

ドラッカーの基本原則とドラッカー研究所スコア

－ドラッカーマネジメントの根底に流れる哲学－

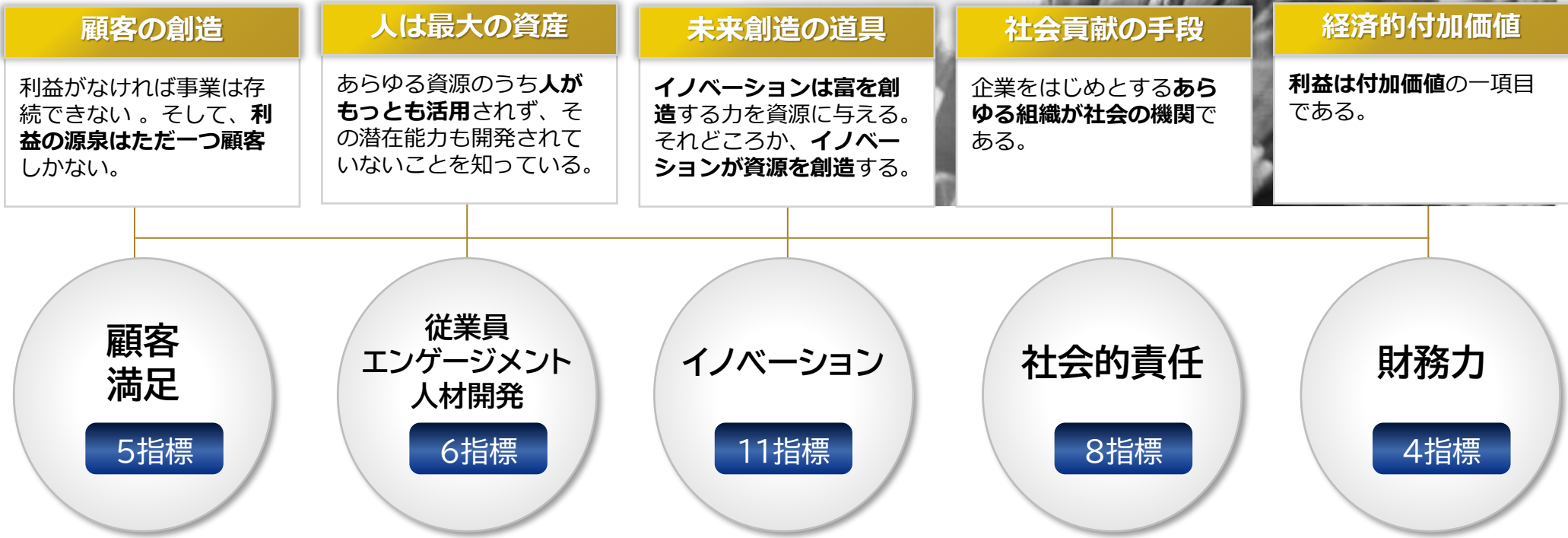
「社会への貢献」と「人間の幸せ」

組織とは、個として、あるいは社会の一員として、貢献の機会と自己実現を得るための手段である。

Organization is the means through which man, as an individual and as a member of the community, finds both contribution and achievement.



ドラッカーが提唱する基本原則



ドラッカー研究所スコア(5つの要素)

(出所)ドラッカー研究所、各種資料より大和アセットマネジメント作成

銘柄選定に「ドラッカー研究所スコア」を活用

ドラッカー研究所スコア（5つの要素）

「顧客満足」、「従業員エンゲージメント・人材開発」、「イノベーション」、
「社会的責任」、「財務力」の5つの要素から成り立つ。



※要素構成に用いられている指標をそれぞれ標準化して平均を0、標準偏差を1とし、構成要素ごとに、各指標を平均して再標準化し計算。

ドラッカー研究所スコアを形成する5要素の内、財務指標を除いた**4要素のスコア**を用いて、個別銘柄の評価に活用

(出所)ドラッカー研究所、各種資料より大和アセットマネジメント作成

ファンド設定来パフォーマンス

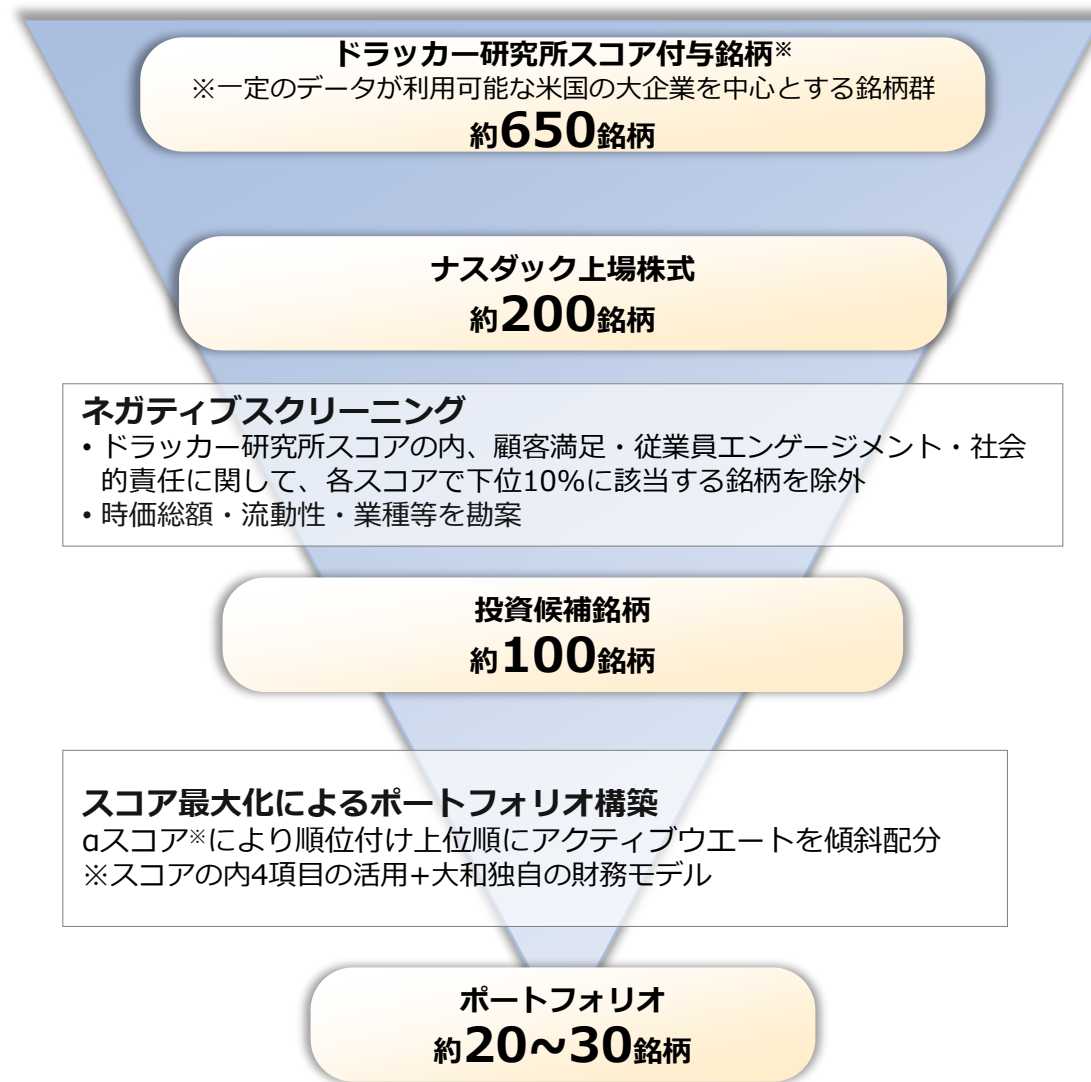
(2022年12月20日～2024年6月13日)



※NASDAQ100(為替ヘッジなし)、FANG+(為替ヘッジなし)、S&P500(為替ヘッジなし)については、配当込み、円ベースの指数を使用し、同指数を対象とする弊社iFreeシリーズにて現在適用されている運用管理費用を控除したシミュレーションです。
 ※レバレッジNASDAQ100(為替ヘッジあり)は、年率0.99%のコストに加え、発生しうる費用を推計して控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※2022/12/20を10,000として指数化。
 ※レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンドのパフォーマンスは運用管理費用(信託報酬)を控除しています。
 ※上記は過去のパフォーマンスを示したものであり、投資元本の安全性および将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)ブルームバーグ、リフィニティブより大和アセットマネジメント作成

ポートフォリオ構築プロセス



※上記はイメージです。

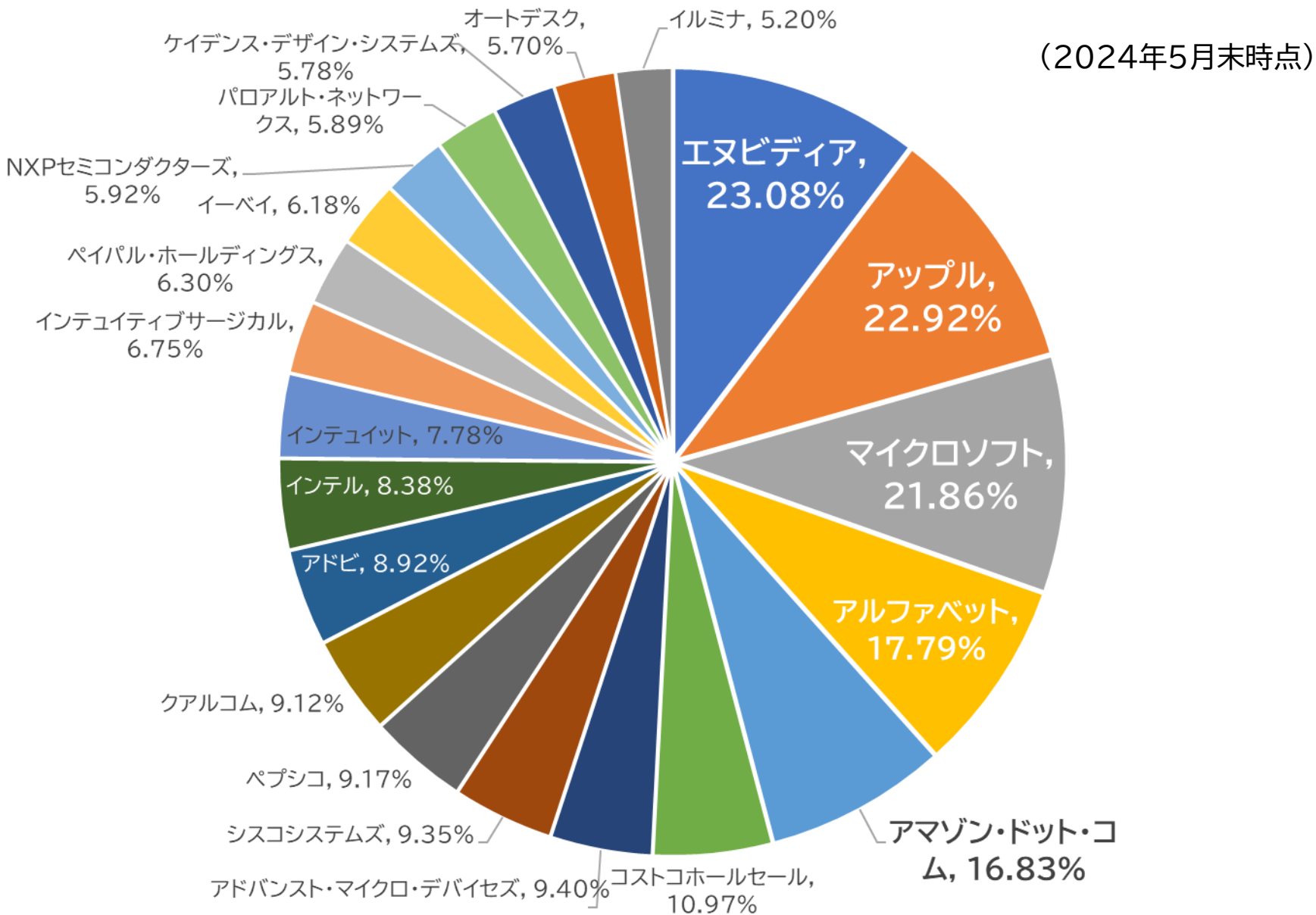
※上記プロセスや各ユニバースにおける銘柄数は今後変更となる場合があります。

ポートフォリオ構築プロセス



※上記はイメージです。
※上記プロセスや各ユニバースにおける銘柄数は今後変更となる場合があります。

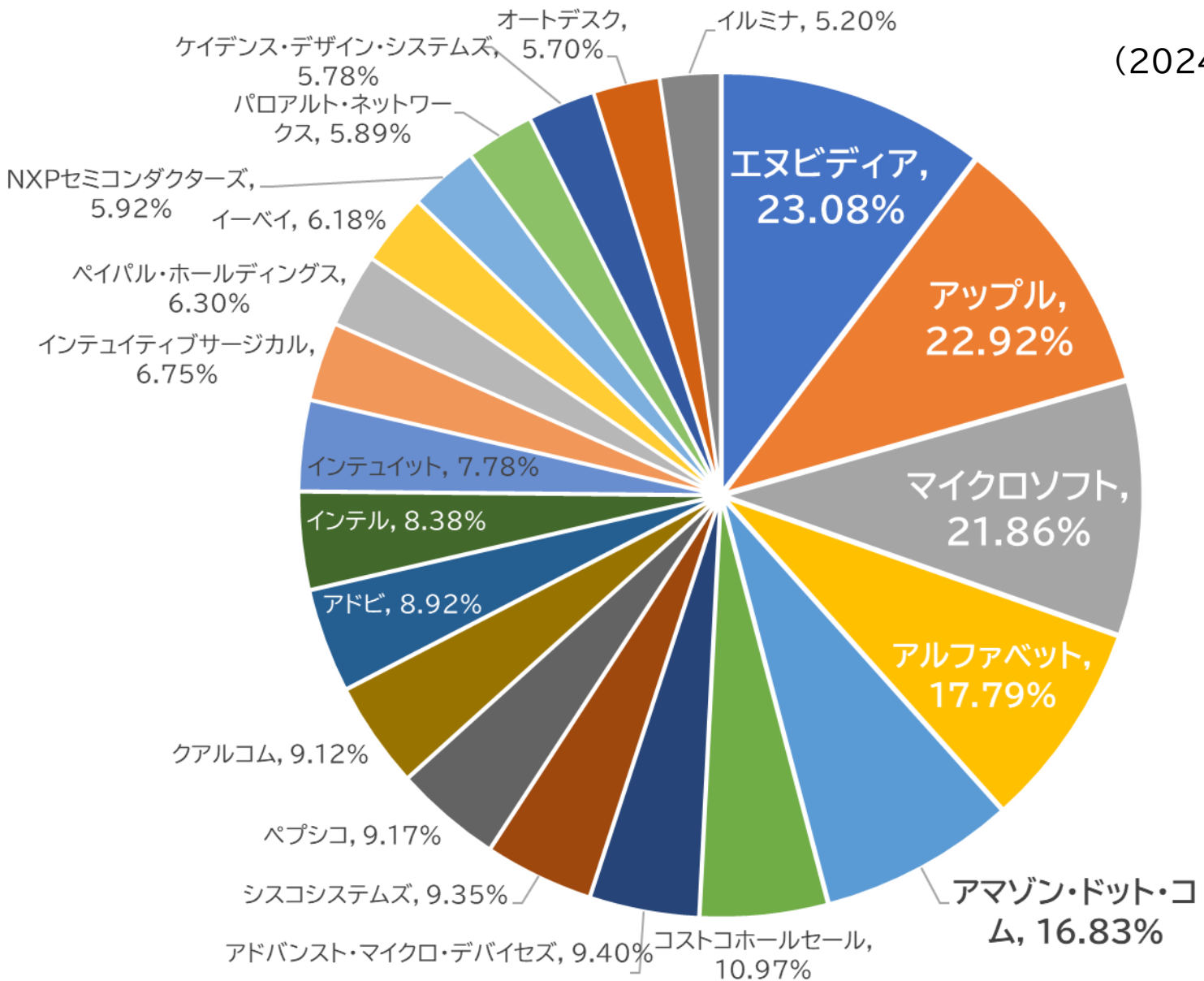
個別銘柄のポートフォリオ



※比率は純資産総額に対する実質的な組み入れ比率を示しています。

個別銘柄のポートフォリオ

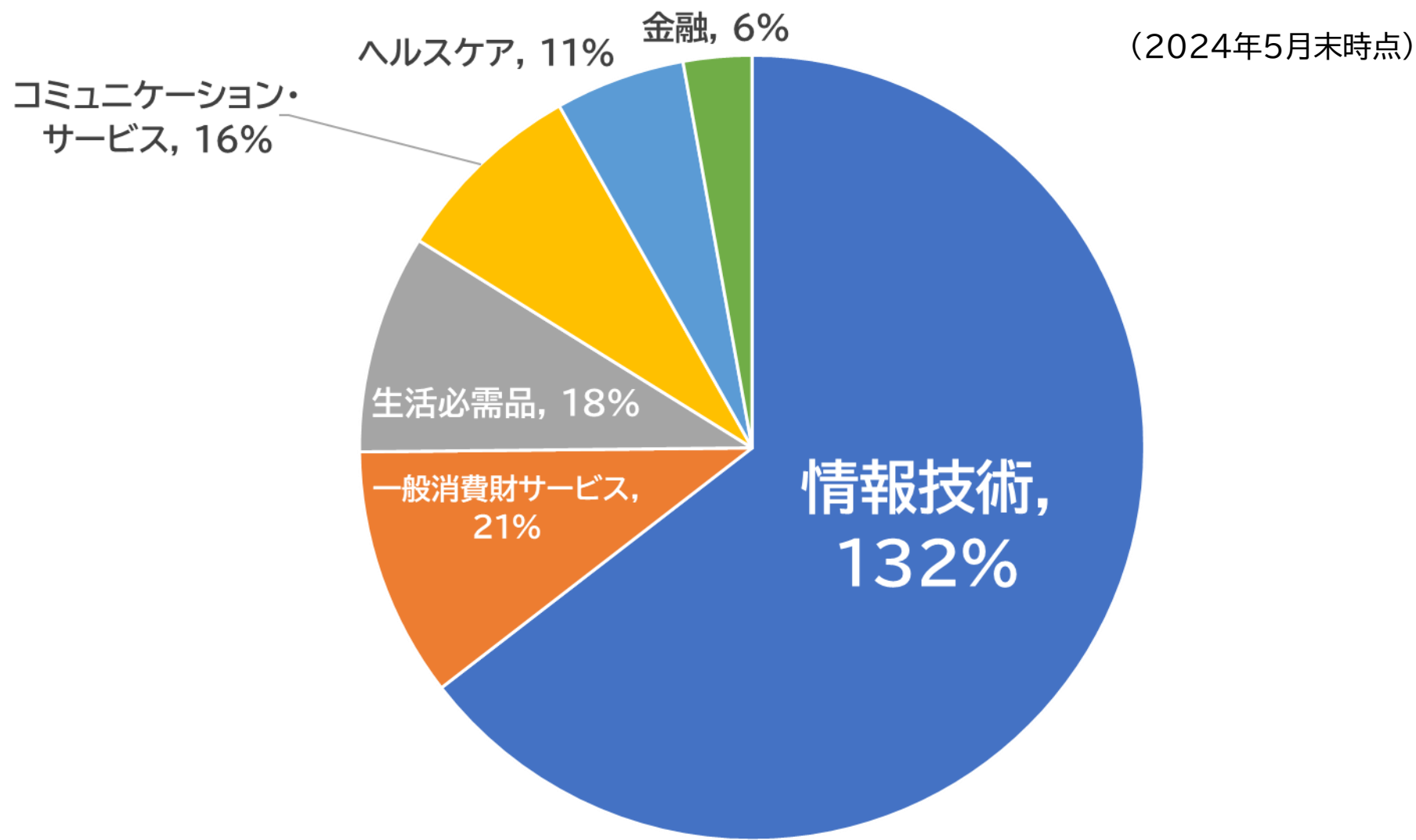
(2024年5月末時点)



**メタ・プラットフォームズと
テスラが入っていない事に注意！**

※比率は純資産総額に対する実質的な組み入れ比率を示しています。

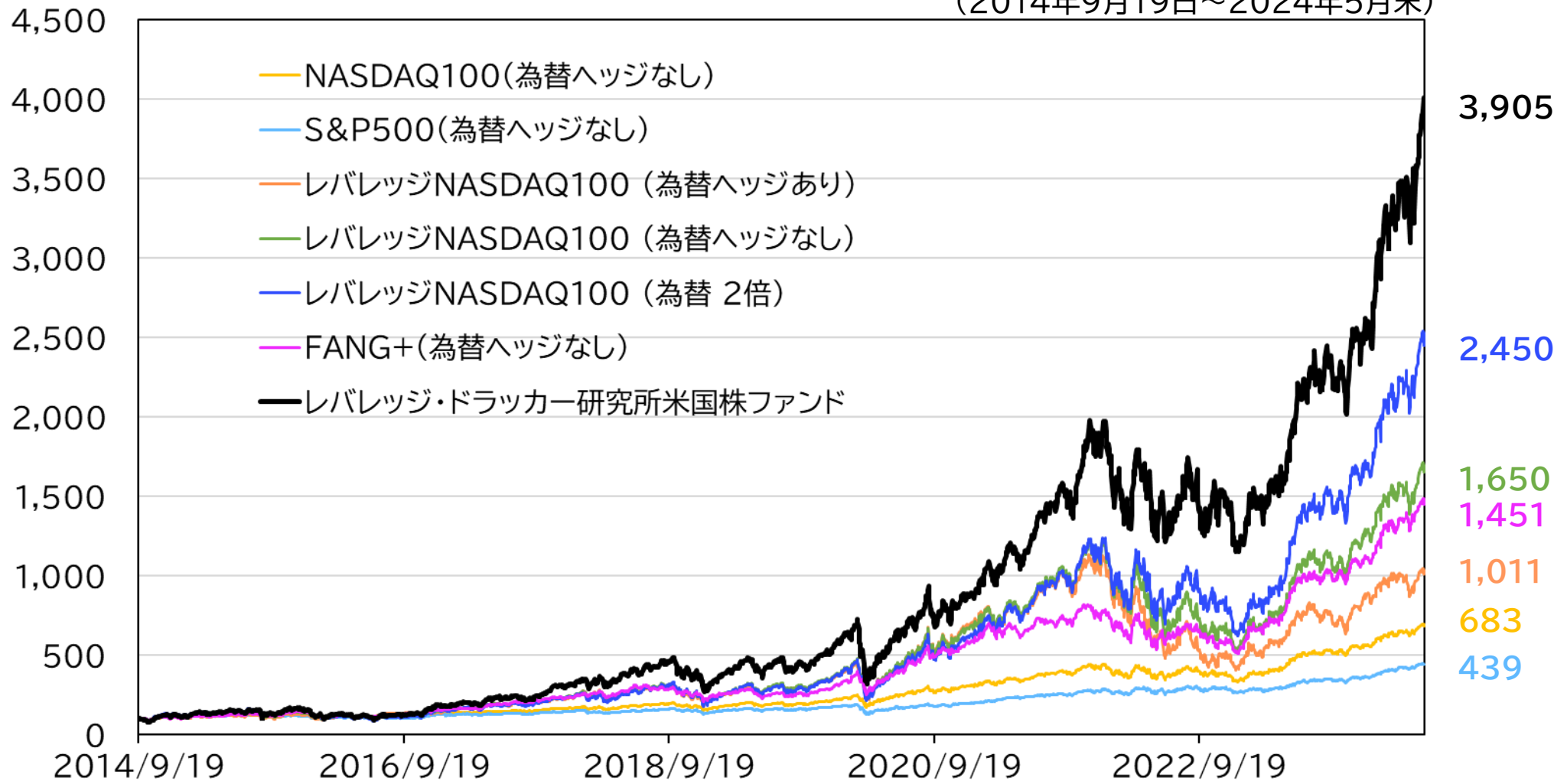
個別銘柄の業種別構成



※比率は純資産総額に対する実質的な組み入れ比率を示しています。
※業種名は、原則としてS&PとMSCI Inc.が共同で作成した世界産業分類基準(GICS)によるものです。

直近約10年のパフォーマンスシミュレーション

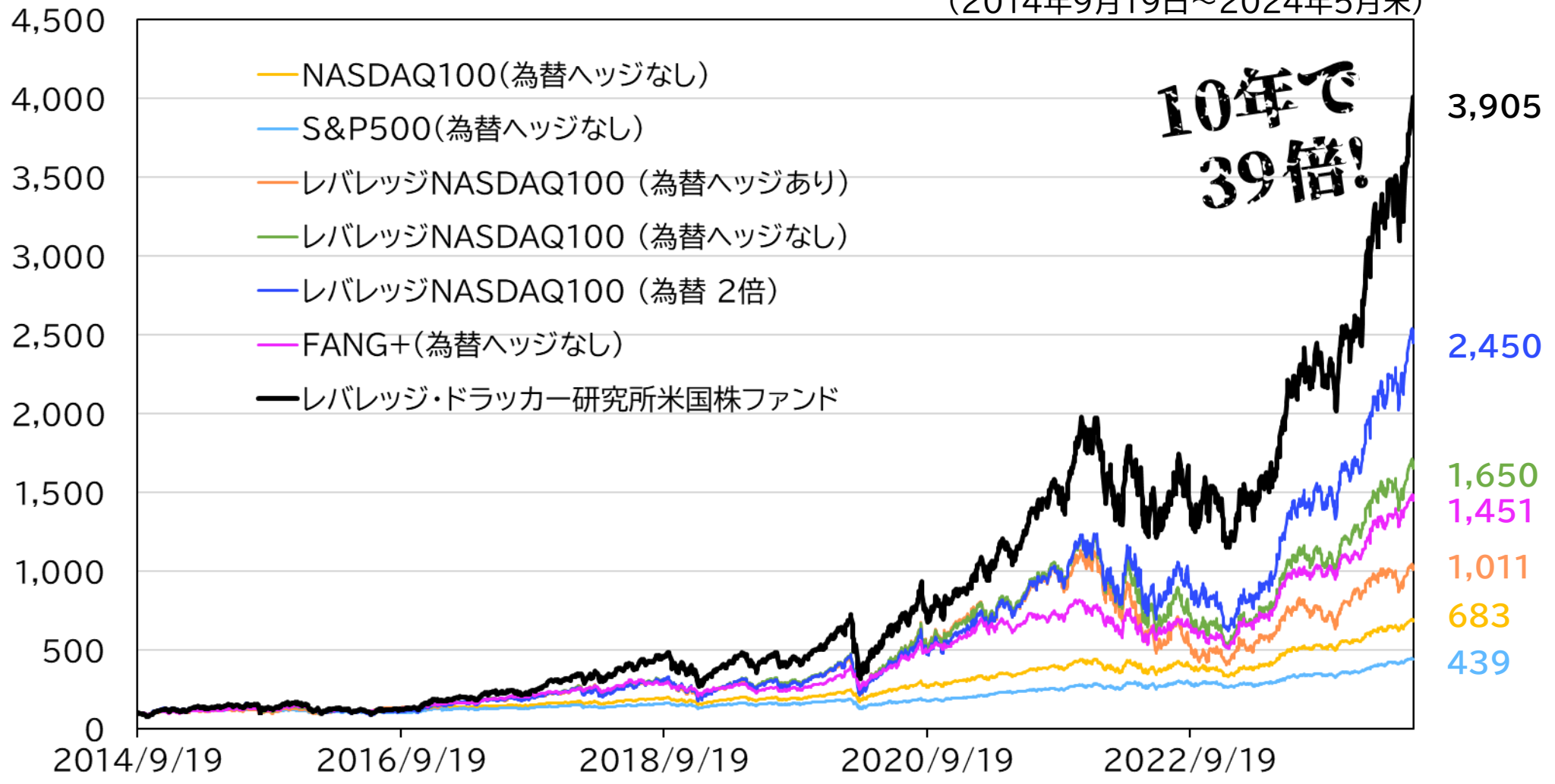
(2014年9月19日～2024年5月末)



※NASDAQ100(為替ヘッジなし)、FANG+ (為替ヘッジなし)、S&P500 (為替ヘッジなし)については、配当込み、円ベースの指数を使用し、同指数を対象とする弊社iFreeシリーズにて現在適用されている運用管理費用を控除したシミュレーションです。
 ※レバレッジNASDAQ100は、年率0.99%のコストに加え、発生しうる費用を推計して控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンドは信託報酬やその他の発生しうる費用を推計し控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※2014年9月19日を100として指数化。
 ※上記は過去のシミュレーション結果を示したものであり、投資元本の安全性および将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。 (出所)NASDAQ、ブルームバーグ、リフィニティブより大和アセットマネジメント作成

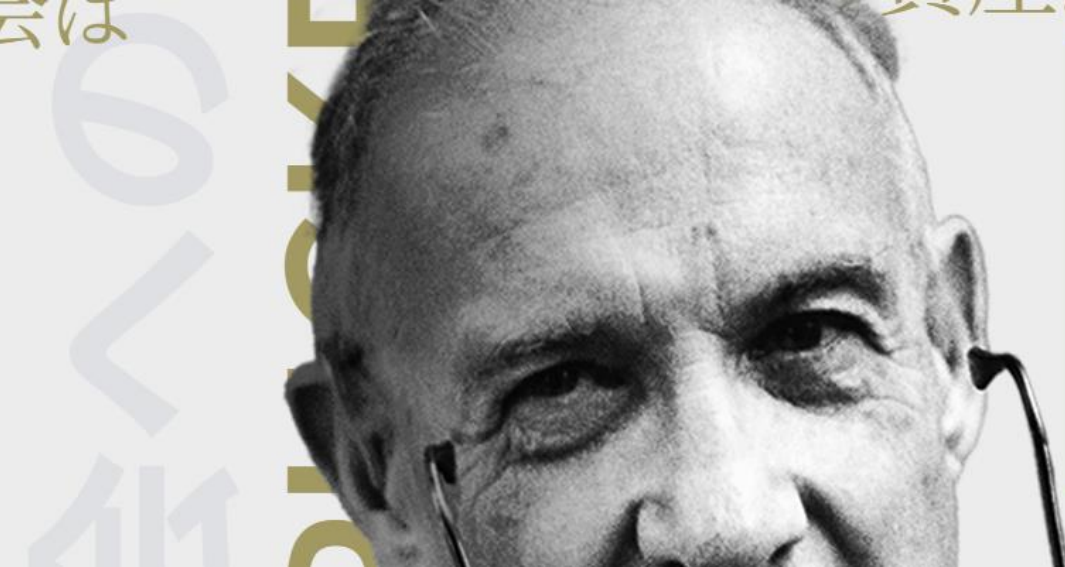
直近約10年のパフォーマンスシミュレーション

(2014年9月19日～2024年5月末)



10年で
39倍!

※NASDAQ100(為替ヘッジなし)、FANG+(為替ヘッジなし)、S&P500(為替ヘッジなし)については、配当込み、円ベースの指数を使用し、同指数を対象とする弊社iFreeシリーズにて現在適用されている運用管理費用を控除したシミュレーションです。
 ※レバレッジNASDAQ100は、年率0.99%のコストに加え、発生しうる費用を推計して控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンドは信託報酬やその他の発生しうる費用を推計し控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※2014年9月19日を100として指数化。
 ※上記は過去のシミュレーション結果を示したものであり、投資元本の安全性および将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。(出所)NASDAQ、ブルームバーグ、リフィニティブより大和アセットマネジメント作成

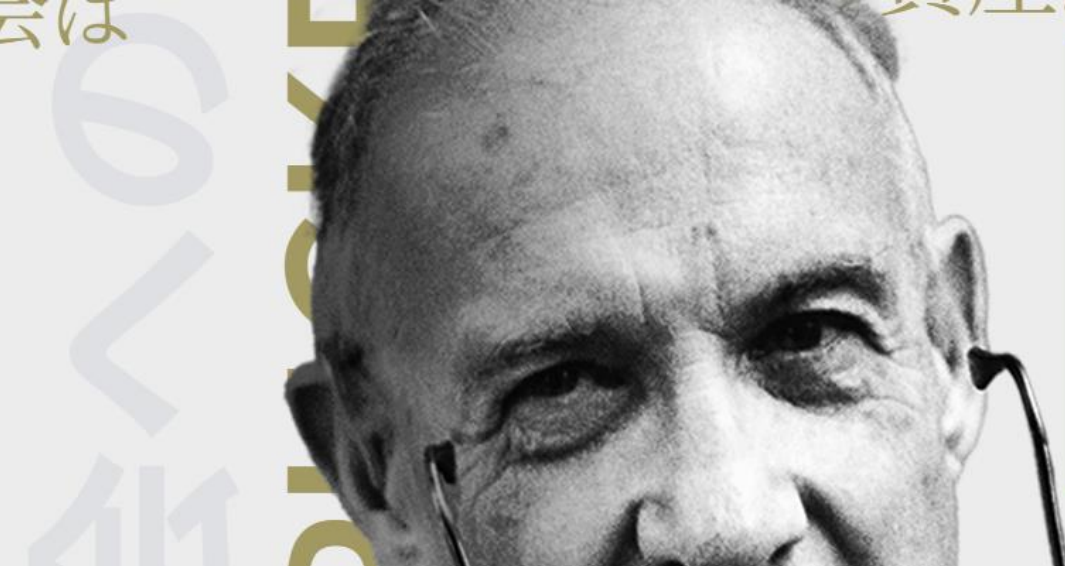


レバレッジ・
ドラッカー研究所
米国株ファンド

追加型投信 / 海外 / 株式

今までのレバレッジ投資信託の代表例

- iFreeレバレッジNASDAQ100
- iFreeレバレッジFANG+
- iFreeレバレッジS&P500
- NASDAQ100 3倍ブル
- NASDAQ100トリプル
(マルチアイ搭載) など



レバレッジ・
ドラッカー研究所
米国株ファンド

追加型投信 / 海外 / 株式

今までのレバレッジ投資信託の代表例

- ・iFreeレバレッジNASDAQ100
- ・iFreeレバレッジFANG+
- ・iFreeレバレッジS&P500
- ・NASDAQ100 3倍ブル
- ・NASDAQ100トリプル
(マルチアイ搭載) など

レバレッジを実現させるため
先物取引や連動債券を利用している
そのため

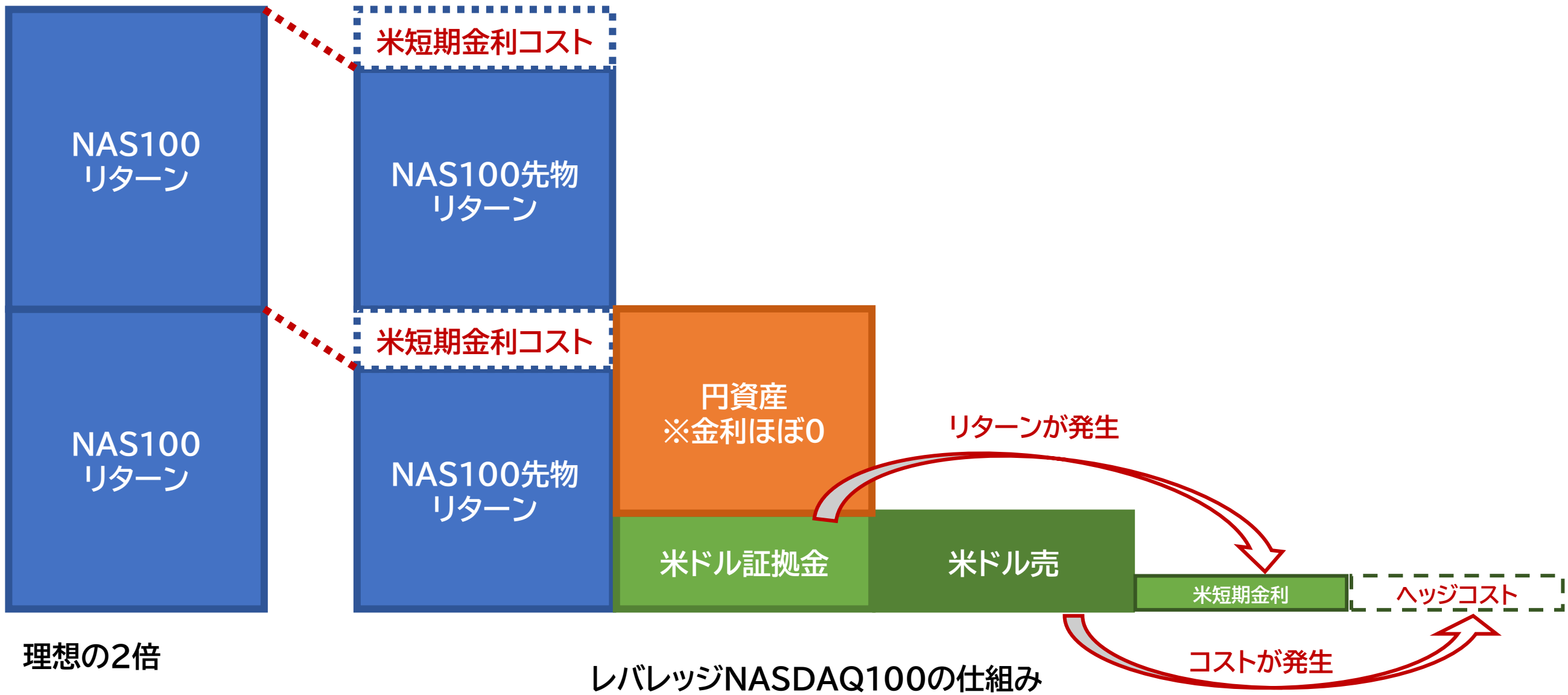
米短期金利分を負担

また、全て為替ヘッジを行っており

為替ヘッジコストを負担

*米短期金利>円短期金利であるため

レバレッジNASDAQ100 運用の仕組みのイメージ

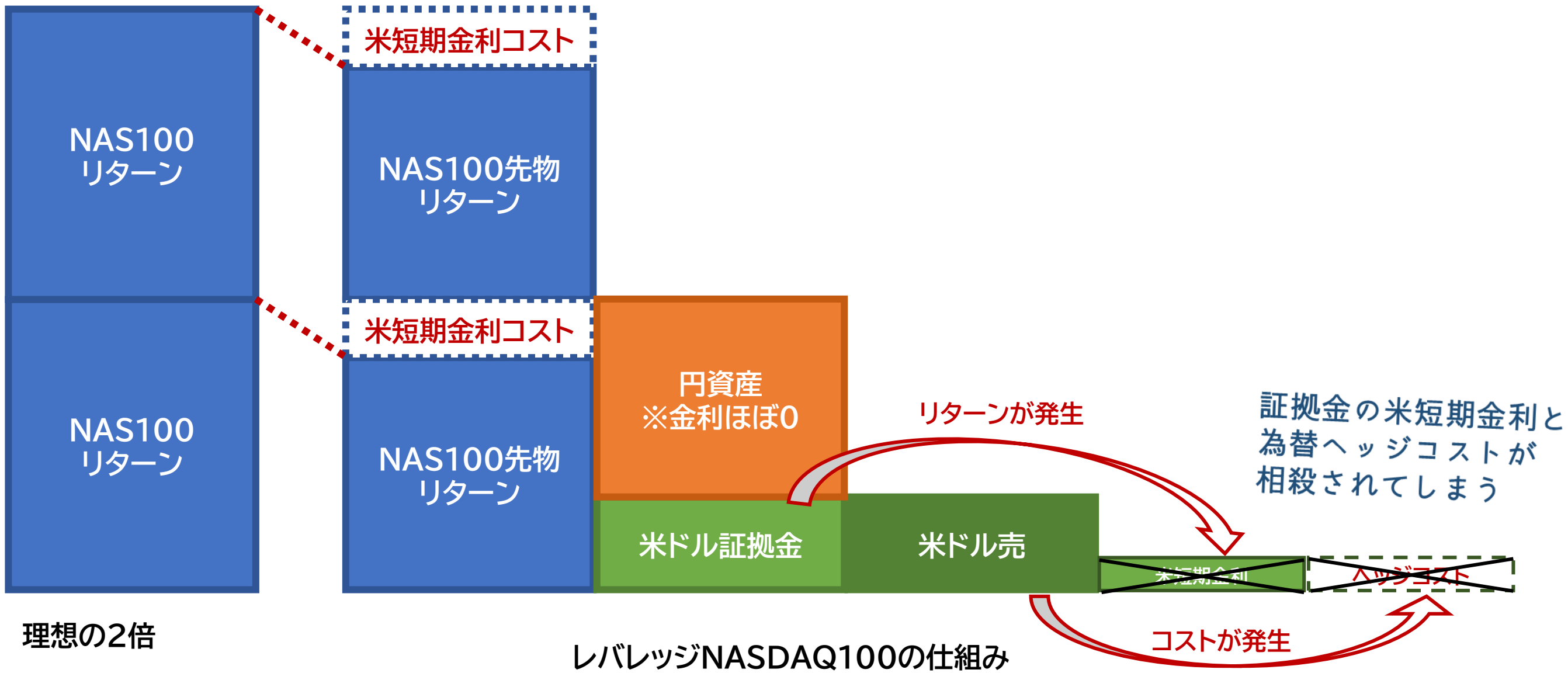


理想の2倍

レバレッジNASDAQ100の仕組み

※上記はイメージです。

レバレッジNASDAQ100 運用の仕組みのイメージ



理想の2倍

レバレッジNASDAQ100の仕組み

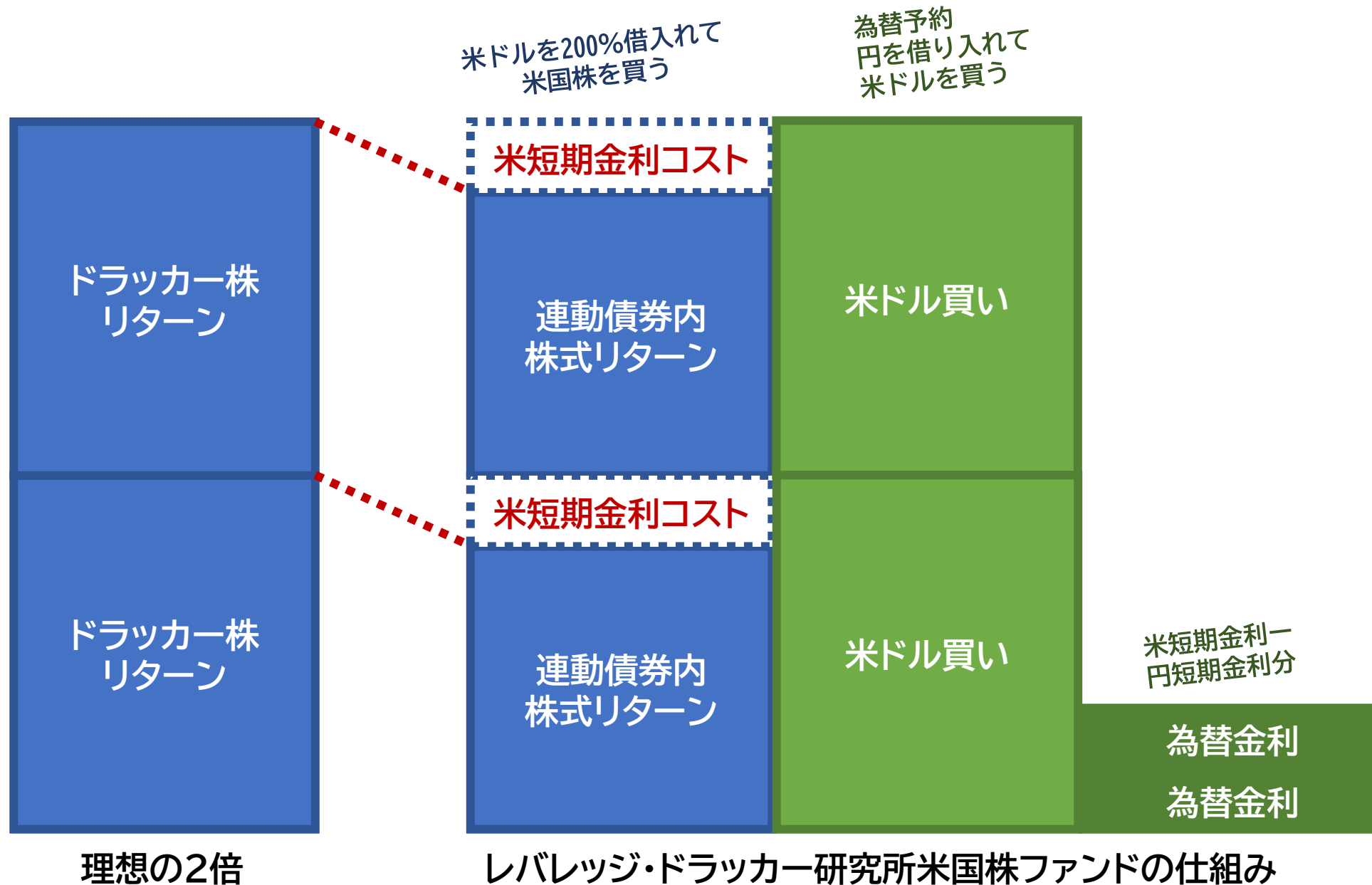
※上記はイメージです。

レバレッジNASDAQ100 運用の仕組みのイメージ



※上記はイメージです。

レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンドの 仕組みのイメージ

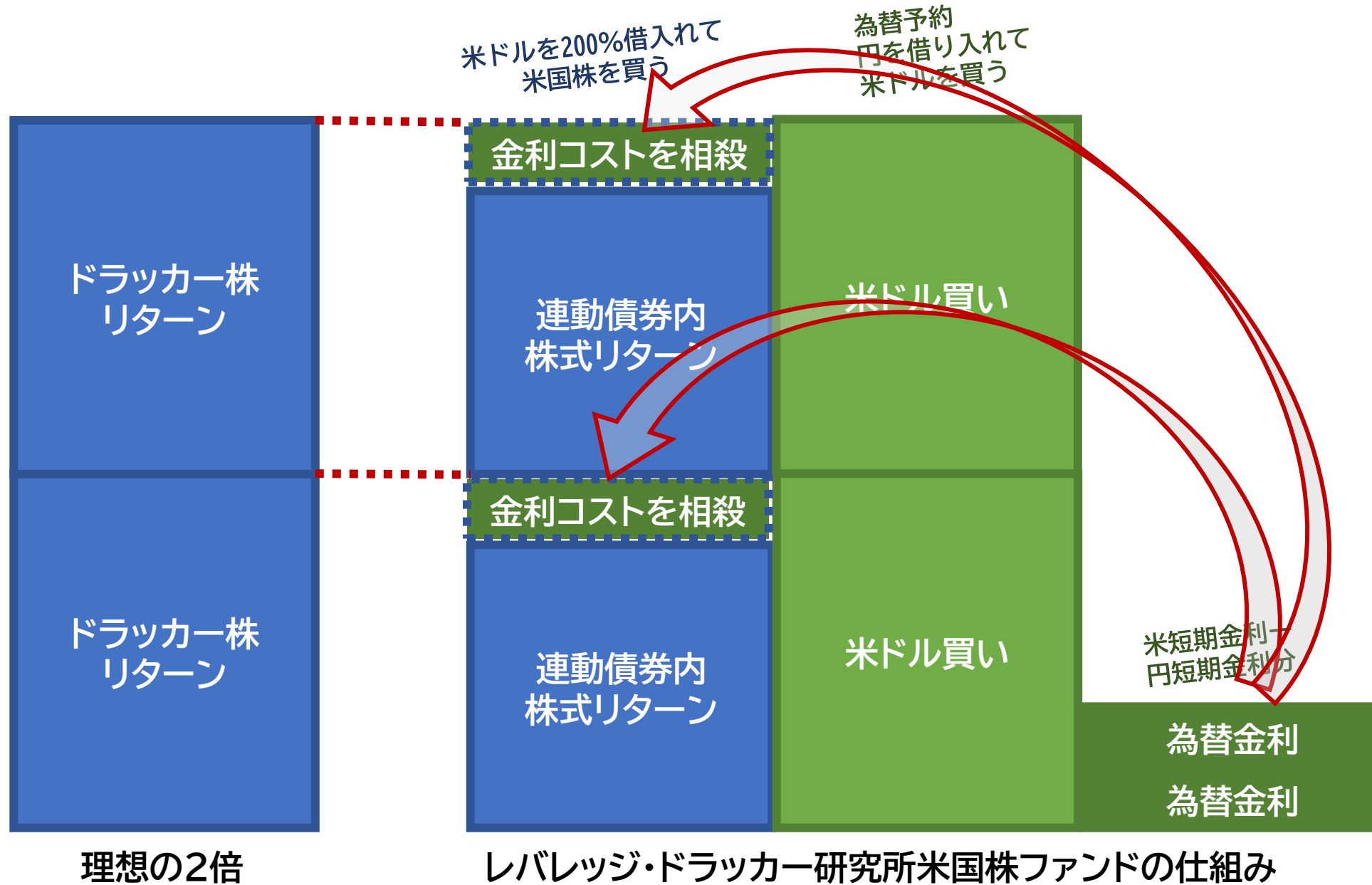


※上記はイメージです。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンドの仕組みのイメージ

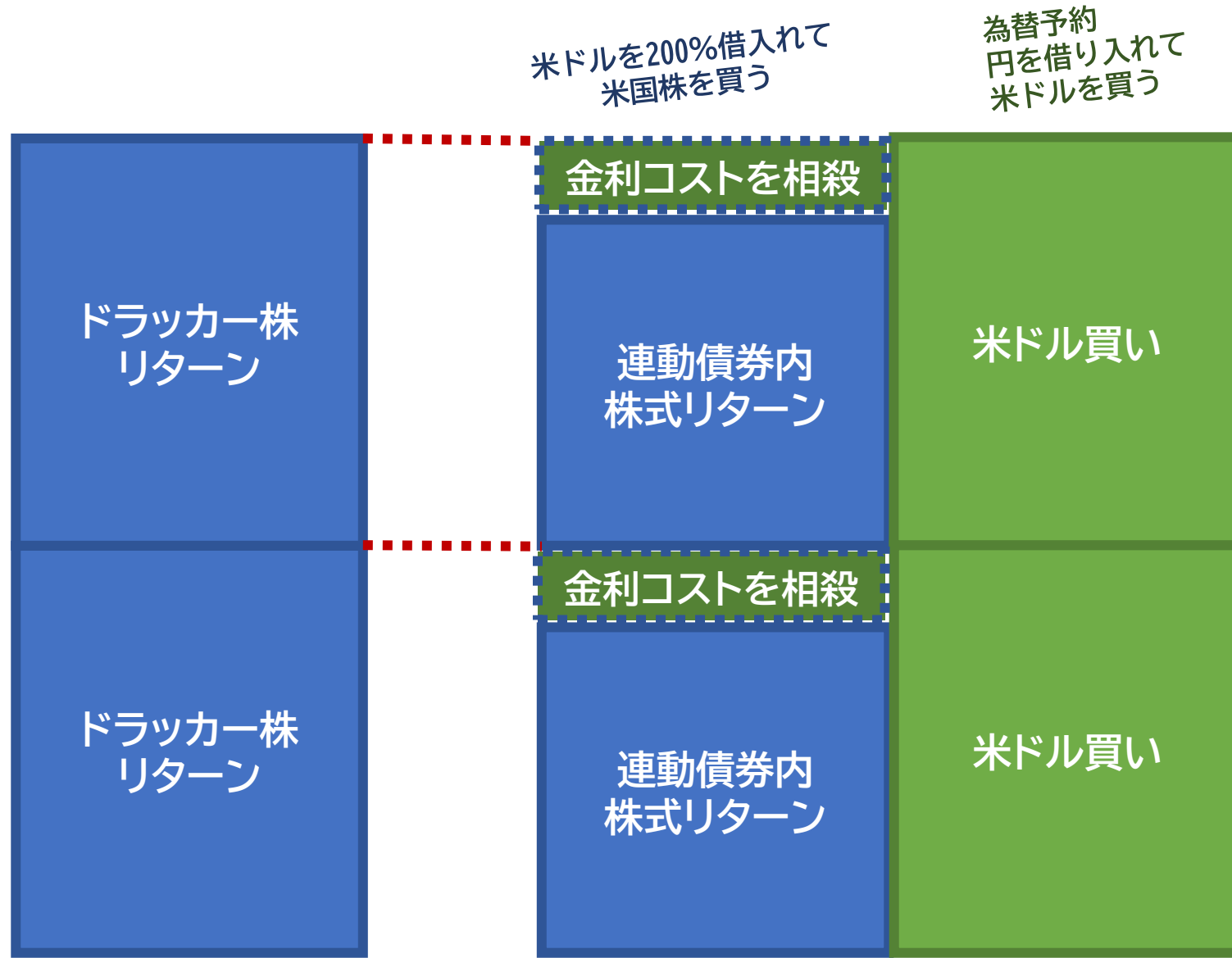


※上記はイメージです。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。

レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンドの 仕組みのイメージ



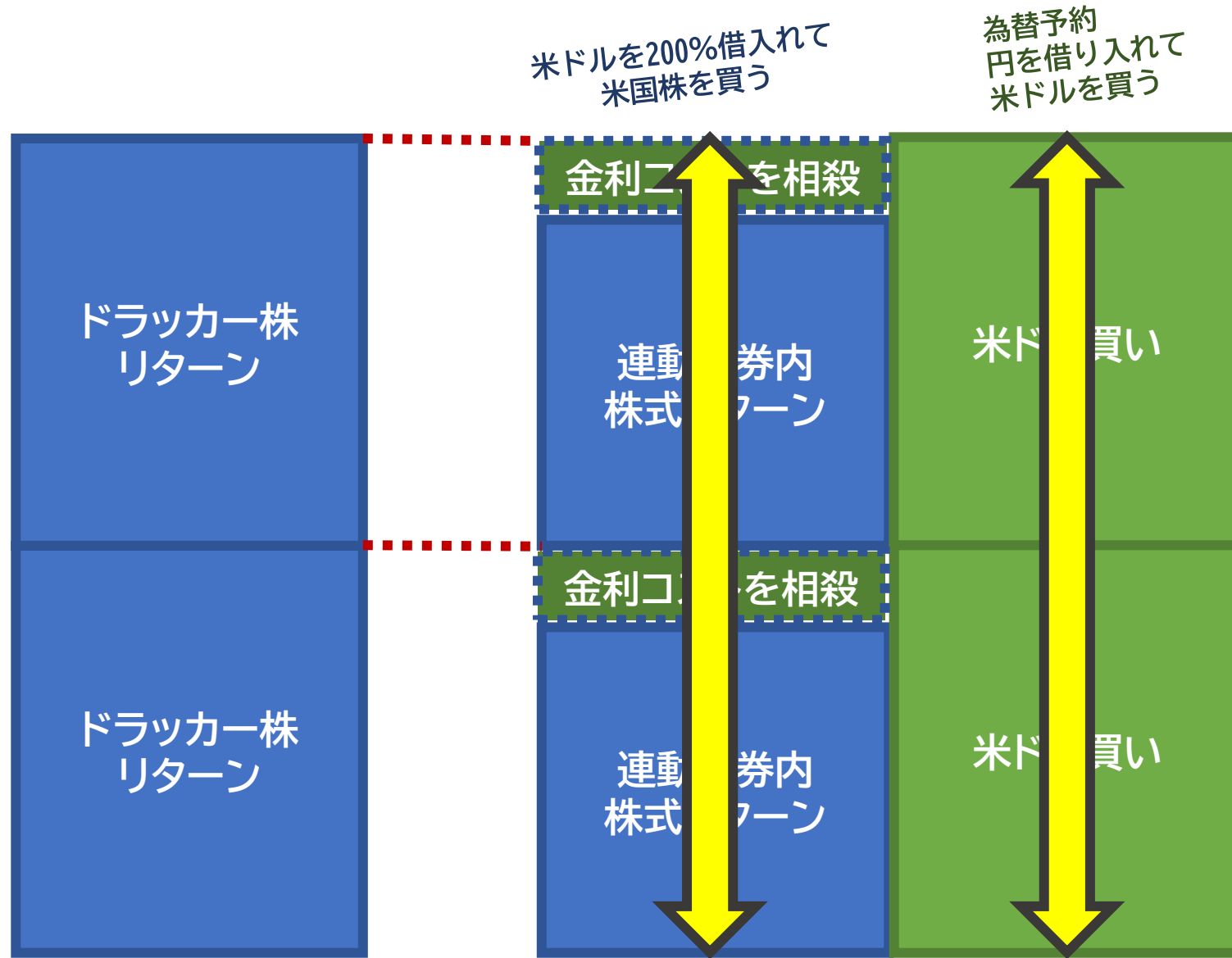
理想の2倍

レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンドの仕組み

**米ドル買いの金利分で
株式部分の短期金利コストを
相殺できる!!!**

※上記はイメージです。

レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンドの 仕組みのイメージ



**株式も2倍
為替も2倍変動するため
リスクは高い**

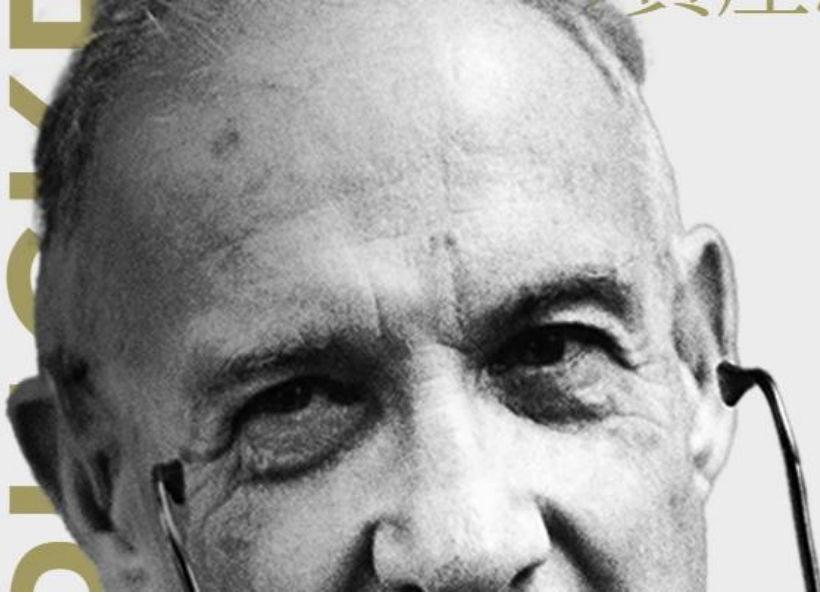
理想の2倍

レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンドの仕組み

※上記はイメージです。

当資料中のいかなる内容も将来の成果を示唆・保証するものではありません。

「当資料のお取扱いにおけるご注意」をご覧ください。



レバレッジ・
ドラッカー研究所
米国株ファンド

追加型投信 / 海外 / 株式

信託報酬は年率2%越えと一見高いように感じるが
今までのレバレッジ投資信託よりは
内包されるコスト面で**遙かに優位な運用が可能**

- *米短期金利コストや為替ヘッジコストは運用報告書に記載されるものではなく
全て基準価額に反映されています
- *日米金利差が大幅に縮小してくれば、この限りではありません

レバレッジ。
ドラッカー研究所
米国株ファンド

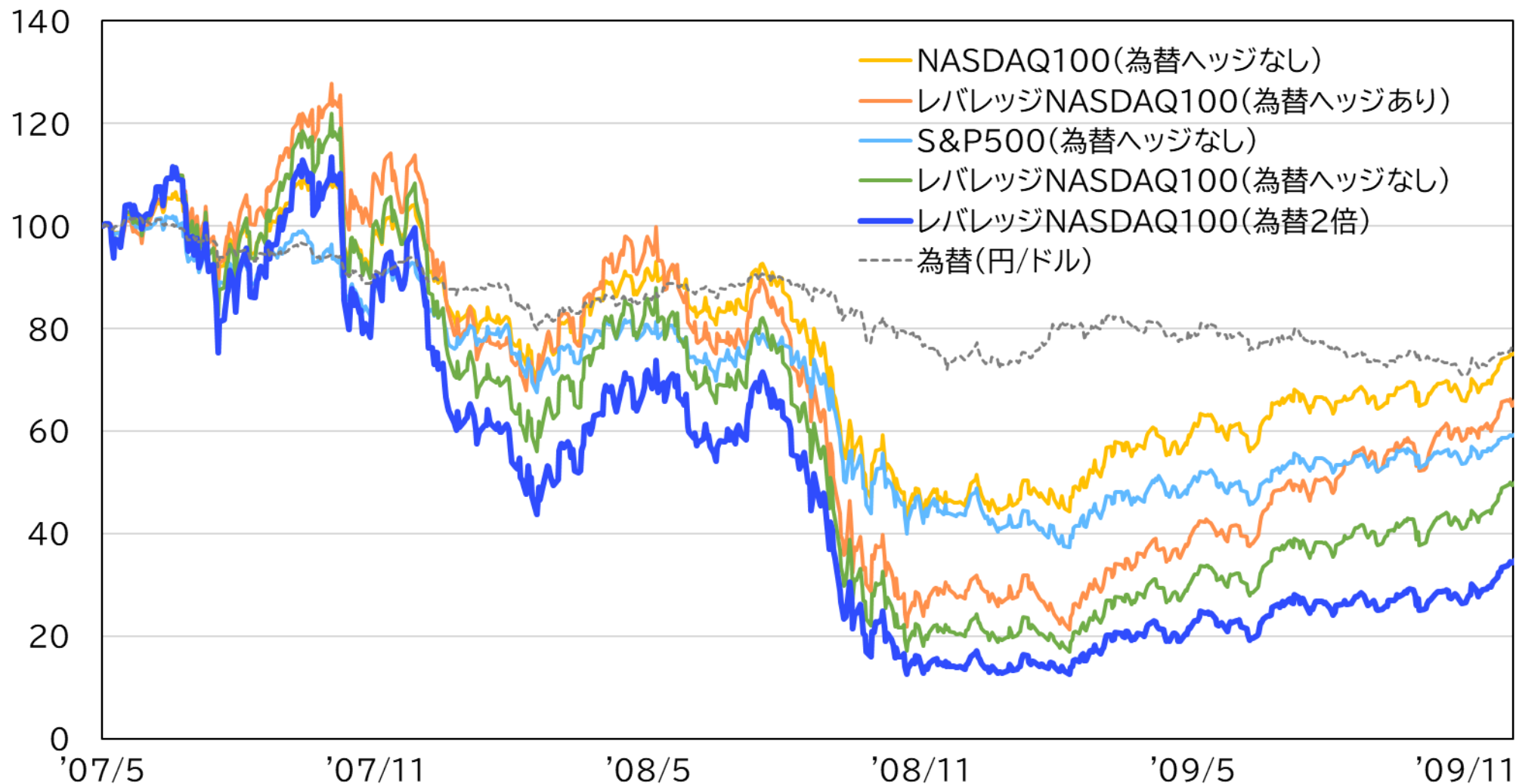
加型投信 / 海外 /

超人スーパーオース

- * 短期金利コストや為替ハッジコストは運用報告書に記載されるものではなく
全て基準価額に反映されています
- * 日米金利差が大幅に縮小してくれば、この限りではありません

リーマンショック前後

(2007年5月末～2009年12月末)



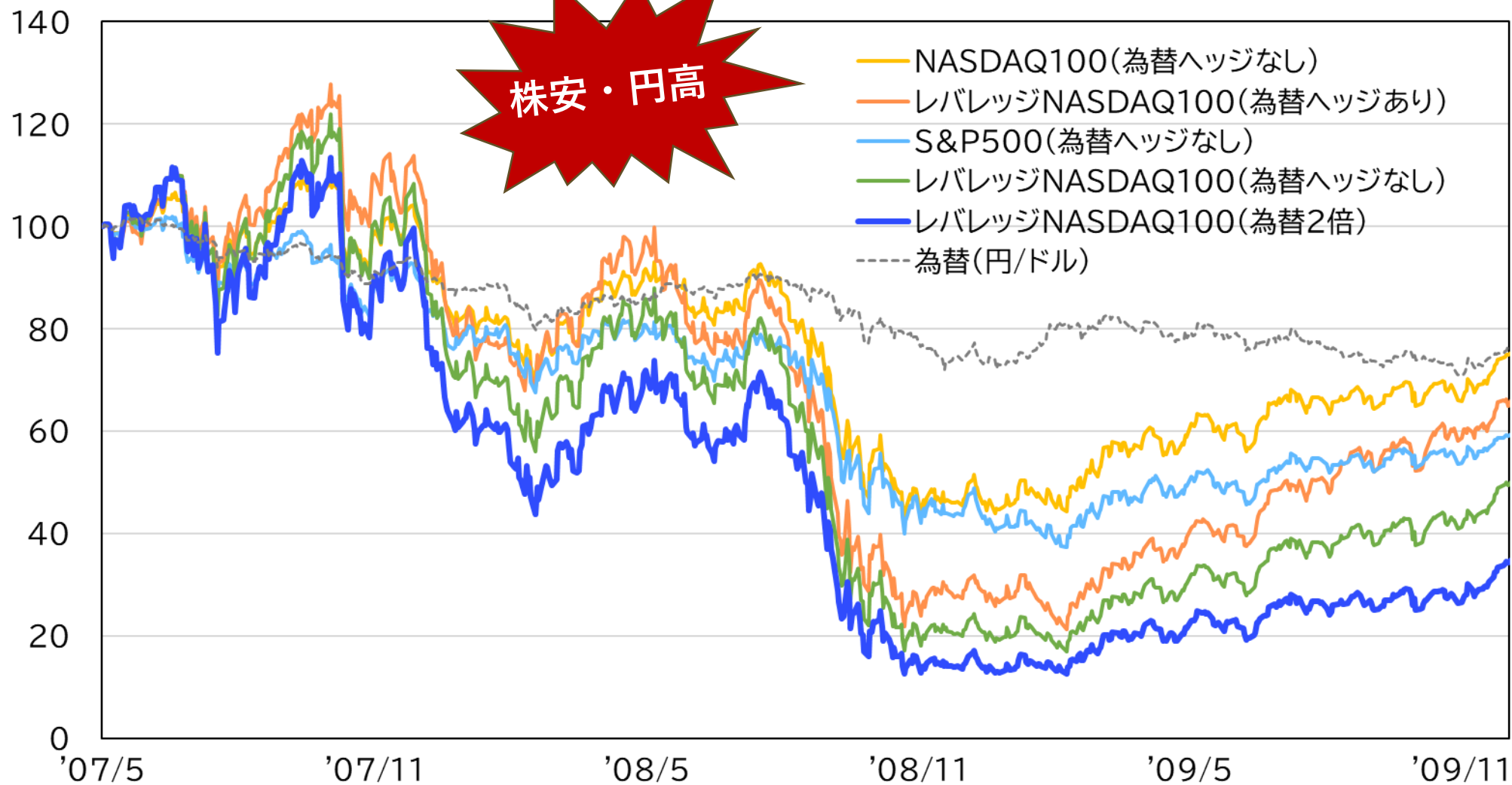
最大ドロウダウン	
NASDAQ100 (為替ヘッジなし)	▲61%
S&P500(為替ヘッジなし)	▲63%
レバレッジNASDAQ100 (為替ヘッジあり)	▲83%
レバレッジNASDAQ100 (為替ヘッジなし)	▲86%
レバレッジNASDAQ100 (為替 2倍)	▲89%

※NASDAQ100(為替ヘッジなし)、S&P500(為替ヘッジなし)については、配当込み、円ベースの指数を使用し、同指数を対象とする弊社iFreeシリーズにて現在適用されている運用管理費用を控除したシミュレーションです。
 ※レバレッジNASDAQ100は、年率0.99%のコストに加え、発生しうる費用を推計して控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※上記は過去のシミュレーション結果を示したものであり、投資元本の安全性および将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)ブルームバーグ、リフィニティブより大和アセットマネジメント作成

リーマンショック前後

(2007年5月末～2009年12月末)



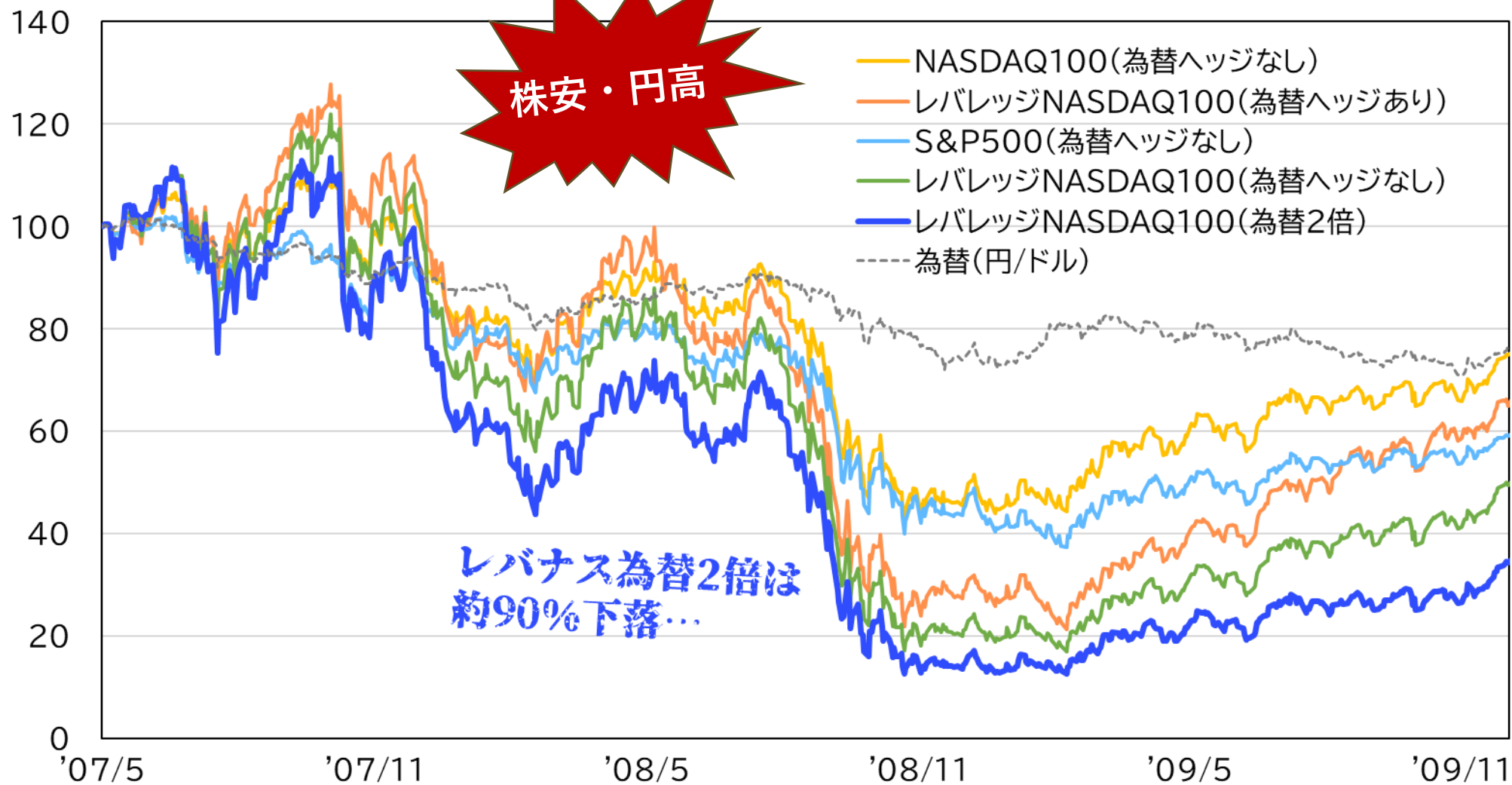
最大ドロウダウン	
NASDAQ100 (為替ヘッジなし)	▲61%
S&P500(為替ヘッジなし)	▲63%
レバレッジNASDAQ100 (為替ヘッジあり)	▲83%
レバレッジNASDAQ100 (為替ヘッジなし)	▲86%
レバレッジNASDAQ100 (為替2倍)	▲89%

※NASDAQ100(為替ヘッジなし)、S&P500(為替ヘッジなし)については、配当込み、円ベースの指数を使用し、同指数を対象とする弊社iFreeシリーズにて現在適用されている運用管理費用を控除したシミュレーションです。
 ※レバレッジNASDAQ100は、年率0.99%のコストに加え、発生しうる費用を推計して控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※上記は過去のシミュレーション結果を示したものであり、投資元本の安全性および将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)ブルームバーグ、リフィニティブより大和アセットマネジメント作成

リーマンショック前後

(2007年5月末～2009年12月末)



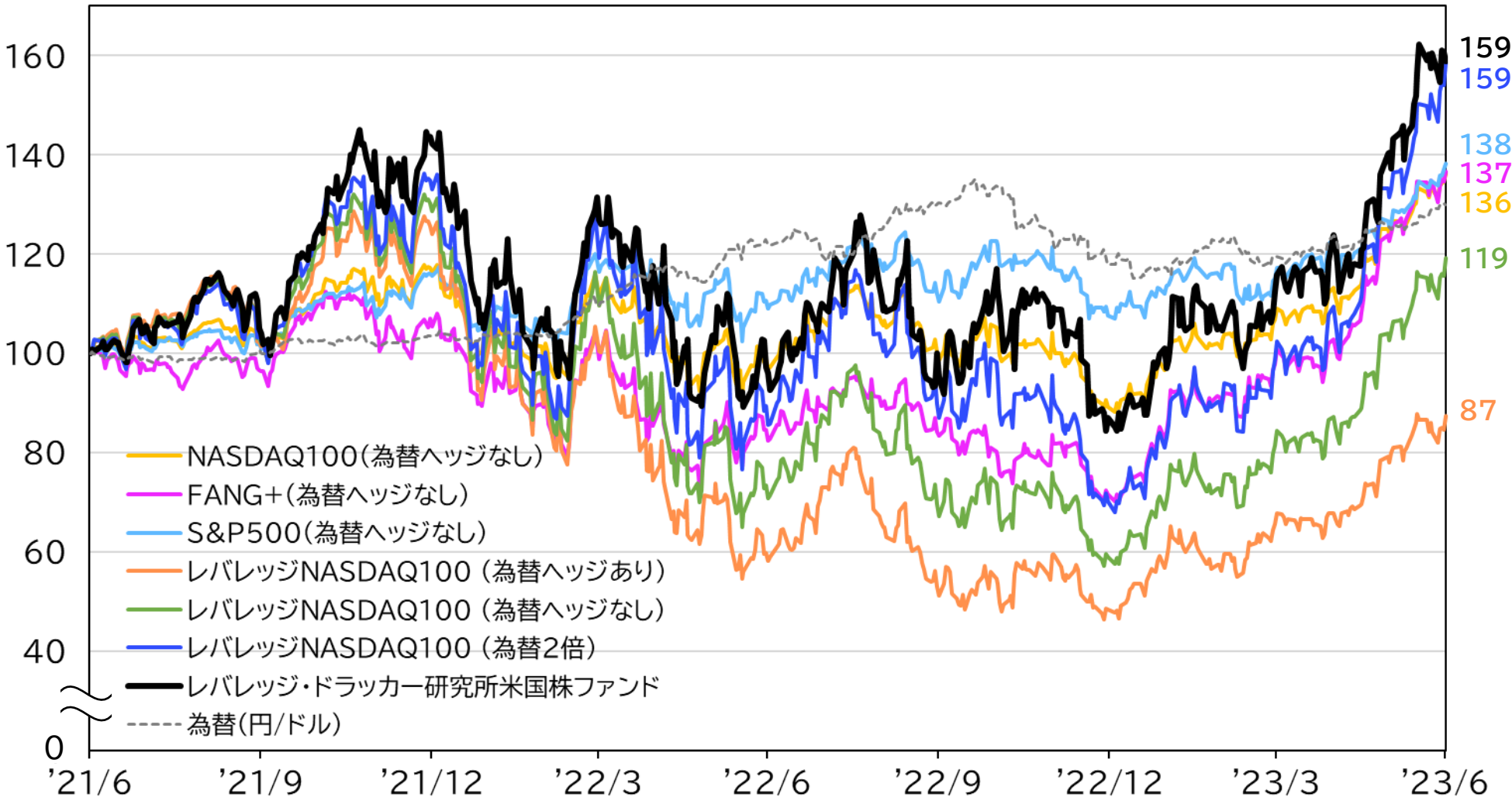
最大ドロウダウン	
NASDAQ100 (為替ヘッジなし)	▲61%
S&P500(為替ヘッジなし)	▲63%
レバレッジNASDAQ100 (為替ヘッジあり)	▲83%
レバレッジNASDAQ100 (為替ヘッジなし)	▲86%
レバレッジNASDAQ100 (為替2倍)	▲89%

※NASDAQ100(為替ヘッジなし)、S&P500(為替ヘッジなし)については、配当込み、円ベースの指数を使用し、同指数を対象とする弊社iFreeシリーズにて現在適用されている運用管理費用を控除したシミュレーションです。
 ※レバレッジNASDAQ100は、年率0.99%のコストに加え、発生しうる費用を推計して控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※上記は過去のシミュレーション結果を示したものであり、投資元本の安全性および将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。

(出所)ブルームバーグ、リフィニティブより大和アセットマネジメント作成

2022年の利上げ時のパフォーマンス

(2021年6月末～2023年6月末)

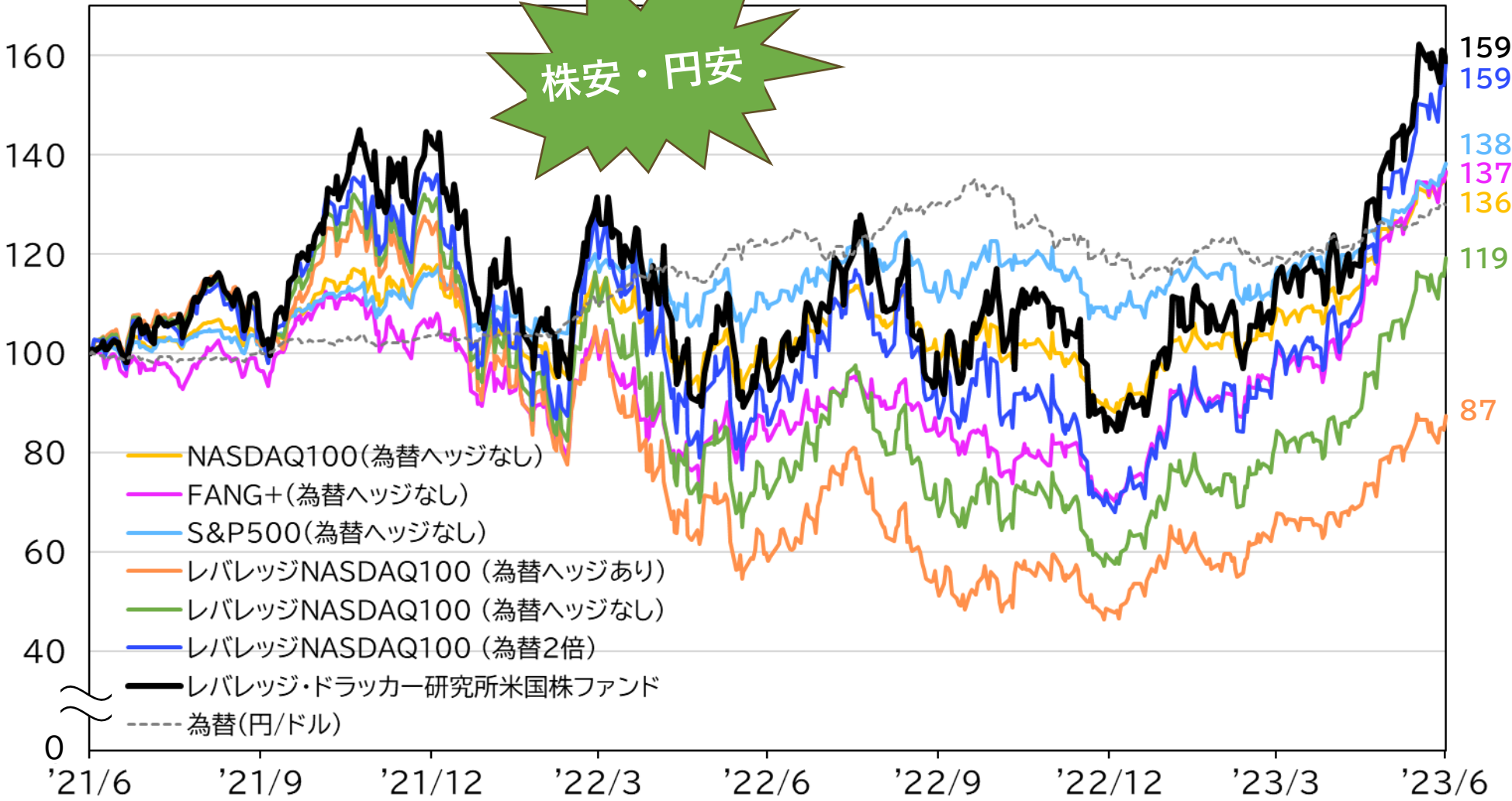


最大ドローダウン	
S&P500(為替ヘッジなし)	▲16%
NASDAQ100(為替ヘッジなし)	▲25%
FANG+(為替ヘッジなし)	▲38%
レバレッジ・ドクター研究所 米国株ファンド	▲42%
レバレッジNASDAQ100 (為替 2倍)	▲50%
レバレッジNASDAQ100 (為替ヘッジなし)	▲57%
レバレッジNASDAQ100 (為替ヘッジあり)	▲64%

※NASDAQ100(為替ヘッジなし)、FANG+(為替ヘッジなし)、S&P500(為替ヘッジなし)については、配当込み、円ベースの指数を使用し、同指数を対象とする弊社iFreeシリーズにて現在適用されている運用管理費用を控除したシミュレーションです。
 ※レバレッジNASDAQ100は、年率0.99%のコストに加え、発生しうる費用を推計して控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※レバレッジ・ドクター研究所米国株ファンドは信託報酬やその他の発生しうる費用を推計し控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※2021年6月末を100として指数化。
 ※上記は過去のシミュレーション結果を示したものであり、投資元本の安全性および将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。 (出所)ブルームバーグ、リフィニティブのデータより大和アセットマネジメント作成

2022年の利上げ時のパフォーマンス

(2021年6月末～2023年6月末)



最大ドローダウン	
S&P500(為替ヘッジなし)	▲16%
NASDAQ100(為替ヘッジなし)	▲25%
FANG+(為替ヘッジなし)	▲38%
レバレッジ・ドラッカー研究所 米国株ファンド	▲42%
レバレッジNASDAQ100 (為替 2倍)	▲50%
レバレッジNASDAQ100 (為替ヘッジなし)	▲57%
レバレッジNASDAQ100 (為替ヘッジあり)	▲64%

※NASDAQ100(為替ヘッジなし)、FANG+(為替ヘッジなし)、S&P500(為替ヘッジなし)については、配当込み、円ベースの指数を使用し、同指数を対象とする弊社iFreeシリーズにて現在適用されている運用管理費用を控除したシミュレーションです。
 ※レバレッジNASDAQ100は、年率0.99%のコストに加え、発生しうる費用を推計して控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンドは信託報酬やその他の発生しうる費用を推計し控除した円ベースのシミュレーションです。
 ※2021年6月末を100として指数化。
 ※上記は過去のシミュレーション結果を示したものであり、投資元本の安全性および将来の運用成果を示唆・保証するものではありません。 (出所)ブルームバーグ、リフィニティブのデータより大和アセットマネジメント作成

銘柄変遷①

2017年末

銘柄名	比率
アップル	17%
マイクロソフト	17%
アマゾン・ドット・コム	17%
アルファベット	17%
メタ・プラットフォームズ	16%
シスコシステムズ	12%
インテル	12%
エヌビディア	9%
アドビ	8%
マリオット・インターナショナル (メリーランド)	8%
クアルコム	8%
インテュイット	7%
スターバックス	7%
アナログ・デバイセズ	7%
ワークデイ	6%
オートデスク	6%
ハズブロ	6%
ラムリサーチ	5%
ネットアップ	5%
シーゲイト・テクノロジー・ ホールディングス	5%
シトリックス・システムズ	5%

2018年末

銘柄名	比率
アップル	17%
マイクロソフト	17%
アマゾン・ドット・コム	17%
アルファベット	17%
インテル	13%
シスコシステムズ	12%
ペプシコ	11%
エヌビディア	9%
アドビ	9%
スターバックス	8%
アマジェン	8%
インテュイット	7%
マリオット・インターナショナル(メリーラ ンド)	6%
テスラ	6%
アドバンスト・マイクロ・デバイセズ	6%
ワークデイ	6%
イーベイ	6%
オートデスク	6%
アナログ・デバイセズ	5%
ハズブロ	5%
アメリカン航空グループ	5%
ウエスタンデジタル	4%

2019年末

銘柄名	比率
アップル	17%
マイクロソフト	17%
アマゾン・ドット・コム	17%
アルファベット	17%
メタ・プラットフォームズ	14%
インテル	12%
シスコシステムズ	11%
ペプシコ	11%
アドビ	9%
スターバックス	7%
インテュイット	7%
マリオット・インターナショナル (メリーランド)	7%
イーベイ	7%
ワークデイ	7%
クアルコム	6%
オートデスク	6%
ハズブロ	6%
アナログ・デバイセズ	6%
イルミナ	6%
ザイリンクス	5%
ルルレモン・アスレティカ	5%

2020年末

銘柄名	比率
アップル	17%
マイクロソフト	17%
アマゾン・ドット・コム	17%
アルファベット	17%
エヌビディア	12%
インテル	10%
シスコシステムズ	10%
アドビ	9%
ペプシコ	9%
クアルコム	8%
アマジェン	8%
コストコホールセール	7%
アドバンスト・マイクロ・デバイセズ	7%
インテュイット	7%
エッツィ	7%
オートマチック・データ・プロセッシング(A DP)	6%
イーベイ	6%
ギリアド・サイエンシズ	6%
ワークデイ	6%
イルミナ	5%
ガーミン	5%
ホロジック	4%

※モデルポートによるシミュレーションを示しています。

※青が翌年に削除された銘柄、赤は、該当年に追加された銘柄、黄色は該当年に追加されたものの翌年に削除された銘柄

(出所) NASDAQ、リフィニティブのデータを元に大和アセットマネジメント作成

銘柄変遷②

2021年末

銘柄名	比率
アップル	17%
マイクロソフト	17%
アルファベット	17%
エヌビディア	15%
シスコシステムズ	10%
ペプシコ	10%
アドビ	10%
インテル	9%
クアルコム	8%
ペイパル・ホールディングス	8%
アドバンスト・マイクロ・デバイス	8%
ハネウェルインターナショナル	7%
インテュイット	7%
アマジェン	7%
エッツィ	7%
イーベイ	6%
TMモバイルUS	6%
バイオジェン	6%
イルミナ	5%
ワークデイ	5%
キューリグ・ドクターペッパー	5%
オートデスク	5%
ホロジック	5%

2022年末

銘柄名	比率
アップル	17%
マイクロソフト	17%
エヌビディア	13%
ペプシコ	10%
シスコシステムズ	10%
アドビ	9%
ペイパル・ホールディングス	8%
コストコホールセール	8%
アドバンスト・マイクロ・デバイス	8%
クアルコム	8%
インテル	8%
アマジェン	8%
オートデスク	7%
インテュイット	7%
イルミナ	7%
モンデリーズ・インターナショナル	7%
イーベイ	7%
アナログ・デバイス	6%
バイオジェン	6%
エクスペディア・グループ	6%
キューリグ・ドクターペッパー	5%
マリOTT・インターナショナル(メリーランド)	5%
NXPセミコンダクターズ	5%
ネットアップ	5%
アカマイ・テクノロジーズ	4%

2023年末

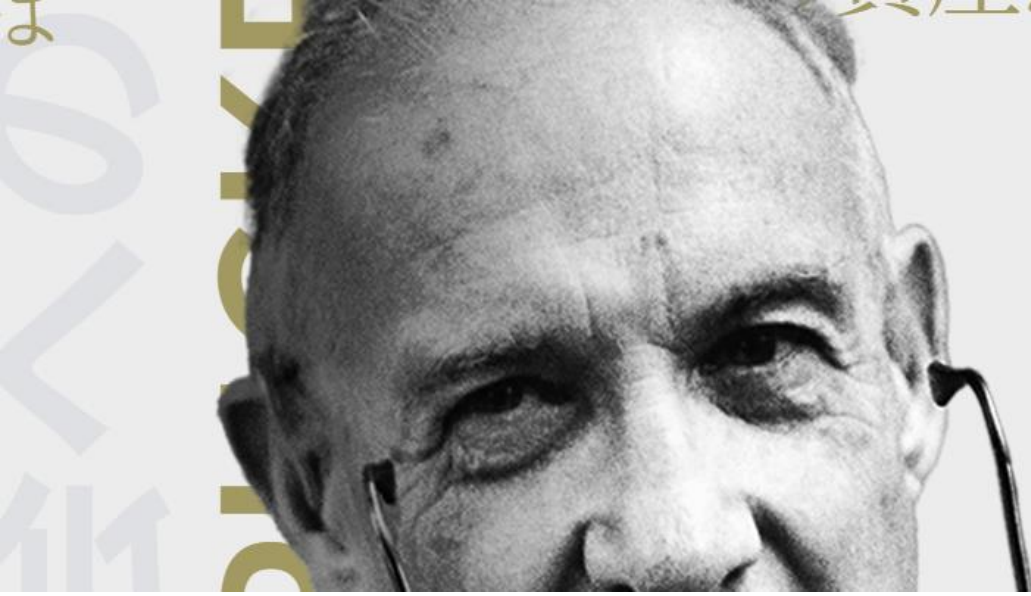
銘柄名	比率
アップル	19%
マイクロソフト	19%
アルファベット	16%
アマゾン・ドット・コム	16%
エヌビディア	14%
コストコホールセール	9%
アドビ	9%
インテル	9%
シスコシステムズ	8%
アドバンスト・マイクロ・デバイス	8%
ペプシコ	8%
インテュイット	8%
クアルコム	7%
オートデスク	6%
インテュイティブサージカル	6%
ペイパル・ホールディングス	6%
パロアルト・ネットワークス	6%
イルミナ	6%
イーベイ	6%
アナログ・デバイス	6%
NXPセミコンダクターズ	5%
ケイデンス・デザイン・システムズ	5%

※2022年まではモデルポートによるシミュレーションを示しています。

※2023年は実績データです(ウエートは株評価額ベース)。

※青が翌年に削除された銘柄、赤は、該当年に追加された銘柄、黄色は該当年に追加されたものの翌年に削除された銘柄

(出所) NASDAQ、リフィニティブのデータを元に大和アセットマネジメント作成



レバレッジ・
ドラッカー研究所
米国株ファンド

追加型投信 / 海外 / 株式

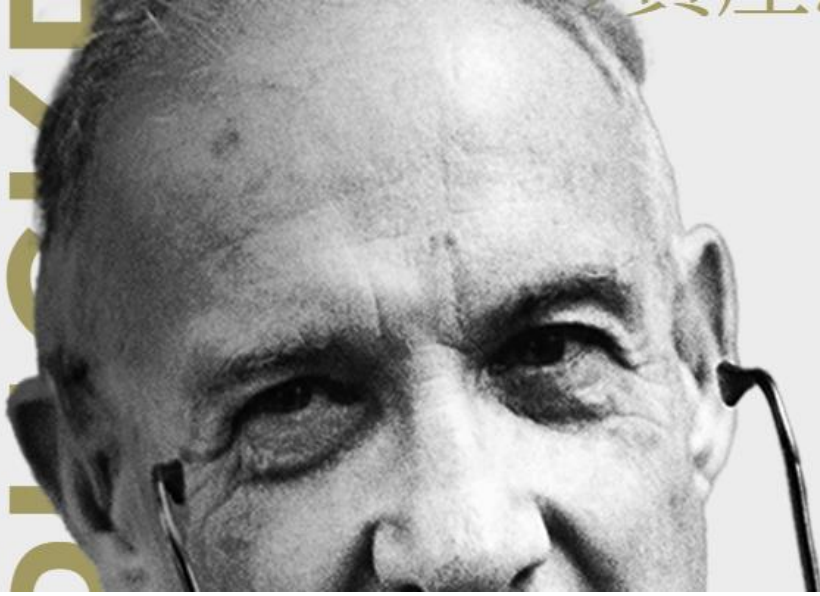
レバレッジ投資信託の大きな欠点と指摘されていた金利コストや為替ヘッジコストが改善された、画期的な投資信託であることは間違いない。

米国の経済状況を鑑みてもFRBが政策金利を下げにくい状況が続いておりしばらくレバナスより優位性が高いと思われる。

為替相場においても「有事の円買い」は薄れており極端な円高に振れることも考えにくい。

レバドラはあなたのポートフォリオの強力なエンジンとなるかもしれない。

※出演者の個人的見解であり、大和アセットマネジメントの見解を示すものではありません。



レバレッジ・ ドラッカー研究所 米国株ファンド

追加型投信 / 海外 / 株式

レバレッジ投資信託の大きな欠点と指摘されていた金利コストや為替ヘッジコストが改善された、画期的な投資信託であることは間違いない。

米国の経済状況を鑑みてもFRBが政策金利を下げにくい状況が続いておりしばらくレバナスより優位性が高いと思われる。

為替相場においても「有事の円買い」は薄れており極端な円高に振れることも考えにくい。

レバドラはあなたのポートフォリオの強力なエンジンとなるかもしれない。

※出演者の個人的見解であり、大和アセットマネジメントの見解を示すものではありません。

ただし、株安円高に振れたときはレバドラの基準価額は大きく毀損する可能性があり、リスクは大きいレバナスと併せ持ちして為替変動を調整したりポートフォリオの一部に留めておくようにしましょう

投資リスク・ファンドの費用

くわしくはファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク <レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンド>

当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、**投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**

基準価額の主な変動要因については次のとおりです。

- 株価の変動(価格変動リスク・信用リスク)
- 為替変動リスク
- カントリー・リスク
- 当ファンドの戦略に関するリスク
- 連動債券の投資に伴うリスク
- 特定銘柄への集中投資リスク
- その他(解約申込みに伴うリスク等)

※変動要因は上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書(交付目論見書)」の「投資リスク」をご覧ください。

※当ファンドはレバレッジ倍率に比した高リスク商品であり、初心者向けの商品ではありません。長期に保有する場合、対象資産の値動きに比べて基準価額が大幅に値下がりすることがあるため、そのことについてご理解いただける方に適しています。

- 一般社団法人投資信託協会が定める「信用リスク集中回避のための投資制限」(分散投資規制)では、投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高いファンドを特化型運用ファンドとしています。支配的な銘柄とは、次のいずれかの割合が10%を超える銘柄をいいます。
 - ・投資対象候補銘柄の時価総額に占めるその銘柄の時価総額の割合
 - ・運用管理等に用いる指数に占めるその銘柄の構成割合
- 当ファンドは、実質的な主要投資対象に支配的な銘柄が存在するまたは存在する可能性が高い特化型運用ファンドです。このため、特定の銘柄へ投資が集中することがあり、発行体に経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

ファンドの費用 (消費税率10%の場合) <レバレッジ・ドラッカー研究所米国株ファンド>

◆お客さまが直接的に負担する費用

購入時手数料	販売会社が別に定める率 <上限>3.30%(税込)
信託財産留保額	ありません。

◆お客さまが信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)	運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して年率1.6225%(税込) 投資対象とする連動債券にかかる費用は年率0.41%程度 実質的に負担する運用管理費用の概算値は年率2.0325%(税込)程度 (連動債券の報酬等を含めたものです。実際の組入状況等により変動します。)
その他の費用・手数料	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引・スワップ取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 ※ 当ファンドおよび連動債券における「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※ 購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせ下さい。

※ 運用管理費用の信託財産からの支払いは、毎計算期間の最初の6か月終了日(休業日の場合翌営業日)および毎計算期末または信託終了時に行なわれます。

※ 手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※ 信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込みには制限があります。

投資リスク・ファンドの費用

くわしくはファンドの「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

iFreeレバレッジNASDAQ100
iFreeレバレッジFANG+
iFreeレバレッジS&P500
NASDAQ100 3倍ブル
NASDAQ100トリプル(マルチアイ搭載)

ファンドの費用 (消費税率10%の場合)

	種類	料率	費用の内容	ご負担いただく費用金額のイメージ (金額は左記の料率の上限で計算しています)
直接的にご負担 いただく費用	購入時手数料	0~3.3%(税込)	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。	基準価額10,000円の時に100万口を購入される場合、最大33,000円をご負担いただきます。
	信託財産留保額	0~0.5%	換金に伴い必要となる費用等を賄うため、換金代金から 控除され、信託財産に繰入れられます。	基準価額10,000円の時に100万口を換金される場合、最大5,000円をご負担いただきます。
信託財産で 間接的にご負担 いただく費用	運用管理費用 (信託報酬)	年率 0~1.98%(税込)	投資信託の運用・管理費用として、販売会社、委託会社、受託会社の三者が、信託財産の中から受け取る報酬です。	基準価額10,000円の時に100万口を保有される場合、最大1日あたり約55円をご負担いただきます。
	その他の費用・ 手数料		監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。(その他の費用・手数料については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません)	

※費用の種類や料率等は販売会社や個々の投資信託によって異なります。上記費用の料率は大和アセットマネジメントが運用する一般的な投資信託の料率を表示しております。ファンド・オブ・ファンズでは、ファンドが投資対象とする投資信託の運用管理費用等を別途ご負担いただきます。また投資信託によっては、運用実績に応じた報酬や換金手数料をご負担いただく場合があります。

※手数料等の合計額については保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※投資信託により異なりますので、くわしくは販売会社にお問合わせください。また、詳細につきましては「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

投資リスク

投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。投資信託が投資する有価証券等によりリスクの要因は異なりますので、お申込みにあたっては、投資信託の「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

※信託財産の資金管理を円滑に行なうために大口の換金申込には制限があります。

当資料のお取扱いにおけるご注意

- 当資料は大和アセットマネジメント株式会社が作成した販売用資料です。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書(交付目論見書)」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- 当資料に掲載の情報は、すべて出演者の個人的見解であり、大和アセットマネジメントの見解を示すものではありません。
- **投資信託は値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失はすべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**
- 投資信託は預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は投資者保護基金の対象ではありません。
- 当資料は信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。記載する指数・統計資料等の知的所有権、その他一切の権利はその発行者および許諾者に帰属します。また、税金、手数料等を考慮しておりませんので、投資者の皆さまの実質的な投資成果を示すものではありません。記載内容は資料作成時点のものであり、予告なく変更されることがあります。
- 分配金額は収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。
- 当資料に掲載した画像等はイメージです。
- 当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。

ドラッカー研究所は、ドラッカー研究所データおよびファンド計算のためにドラッカー研究所が大和アセットマネジメントに提供するその他のデータの正確性を確保するために商業上合理的な努力をしますが、ドラッカー研究所データの正確性、完全性、有効性、即時性または適時性についての表明または保証を行いません。ドラッカー研究所データの利用によって個人または法人が得られる結果について、明示的か黙示的かを問わず、ドラッカー研究所はいかなる保証もしません。ドラッカー研究所は、明示的か黙示的かを問わず、ドラッカー研究所データに関する商品性または特定の目的または利用のための適合性の保証を一切行わず、ここに明示的に否認します。ドラッカー研究所は、その他個人もしくは法人に対して、いかなる市場セクター、資産クラスまたはその他任意の選択基準に基づくパフォーマンスに対するドラッカー研究所データのパフォーマンスの相対的な関係に関して、明示的か黙示的かを問わず、表明または保証を行いません。

The Drucker 1996 Literary Works Trust is not a sponsor of and has not approved authorized or reviewed the terms or any other aspect of LEVERAGED DRUCKER INSTITUTE US EQUITY FUND and is not involved in the provision of, this product or service. Drucker 1996 Literary Works Trustは、この投資信託のスポンサーではなく、その条件やその他の側面について承認、認可、検討を行っていません。また、この投資信託およびそれに関連するサービスの提供にも関与していません。

目論見書のご請求・お申込みは…

Rakuten 楽天証券

〈販売会社〉

商号等 楽天証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第195号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会

設定・運用は…

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

〈委託会社〉

商号等 大和アセットマネジメント株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

投資信託のリスクと費用について

投資信託は、商品によりその投資対象や投資方針、申込手数料等の費用が異なり、多岐にわたりますので、当該商品の目論見書、契約締結前交付書面等をよくお読みになり、内容について十分にご理解いただくよう、お願いいたします。

投資信託の取引にかかるリスク

- 主な投資対象が国内株式
組み入れた株式の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- 主な投資対象が円建て公社債
金利の変動等による組み入れ債券の値動きにより基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。
- 主な投資対象が株式・一般債にわたっており、かつ、円建て・外貨建ての両方にわたっているもの
組み入れた株式や債券の値動き、為替相場の変動等の影響により基準価額が上下しますので、これにより投資元本を割り込むおそれがあります。

投資信託の取引にかかる費用

各商品は、銘柄ごとに設定された購入又は換金手数料（最大税込4.40%）および運営管理費用（信託報酬等）の諸経費をご負担いただく場合があります。また、一部の投資信託には、原則として換金できない期間（クローズド期間）が設けられている場合があります。

- お買付時にお客様に直接ご負担いただく主な費用
「買付手数料」：ファンドによって異なります。
- 保有期間中に間接的にご負担いただく主な費用
「ファンドの管理費用（含む信託報酬）」：ファンドによって異なります。
- ご換金時にお客様に直接ご負担いただく主な費用
「信託財産留保額」「換金手数料」：ファンドによって異なります。

買付・換金手数料、信託報酬、信託財産留保額以外にお客様にご負担いただく「その他の費用・手数料等」には、信託財産にかかる監査報酬、信託財産にかかる租税、信託事務の処理に関する諸費用、組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管等に要する費用、受託会社の立替えた立替金の利息等がありますが、詳細につきましては「目論見書」で必ずご確認くださいませよう願います。

また、「その他の費用・手数料等」については、資産規模や運用状況によって変動したり、保有期間によって異なったりしますので、事前に料率や上限額を表示することはできません。

投資信託に関する情報提供について

- 楽天証券株式会社がウェブページ上で掲載している投資信託関連ページは、お取引の参考となる情報の提供を目的として作成したものであり、投資勧誘や特定銘柄への投資を推奨するものではありません。
- 各投資信託関連ページに掲載している投資信託は、お客様の投資目的、リスク許容度に必ずしも合致するものではありません。投資に関する最終決定はお客様ご自身の判断でなさるようお願いいたします。
- 各投資信託関連ページで提供している個別投資信託の運用実績その他の情報は、当該投資信託の今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、また、将来の運用成果をお約束するものでもありません。

(楽天証券分類およびファンドスコアについて)

● 楽天証券ファンドスコアは、「運用実績」を一定の算出基準に基づき定量的に計算したもので今後の運用成果を予想または示唆するものではなく、将来の運用成果をお約束するものでもありません。最終的な投資判断は、運用コスト、残高の規模、資金流出入額、運用プロセス、運用体制等を考慮し、お客様ご自身でなさるようお願いいたします。

● 情報提供：株式会社QUICK

各投資信託関連ページに掲載している情報（以下「本情報」という）に関する知的財産権は、楽天証券株式会社、株式会社QUICKまたは同社の情報提供元（以下三社を合わせて「情報提供元」という）に帰属します。本情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではなく、これらの情報によって生じた損害について、情報提供元は原因の如何を問わず一切の責任を負いません。本情報の内容については、蓄積・編集加工・二次加工を禁じます。また、予告なしに変更を行うことがあります。

免責事項

本資料は、将来の株価変動等を予測し保証するものではありません。また、有価証券の取引その他の取引の勧誘を目的としたものではありません。記載された情報の正確性について万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。本資料及び資料にある情報をいかなる目的で使用される場合におきましても、お客様の判断と責任において使用されるものであり、本資料及び資料にある情報の使用による結果について、当社は何ら責任を負うものではありませんのでご了承ください。

資料に記載している価格、数値、金利等は、諸情勢により変化し実際とは異なる場合がございます。また、お取引を締結する際に実際に用いられる価格または数値を表すものでもございませんので、予めご了承下さいます様お願い申し上げます。

楽天証券の各取扱商品等に投資いただく際は、所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。また各取扱商品等は、価格の変動等によって損失が生じるおそれがあります。投資にかかる手数料等およびリスクについては、楽天証券ウェブサイトの「投資にかかる手数料等およびリスク」ページや「契約締結前交付書面」等をよくお読みになり、内容について十分にご理解ください。

投資信託は、価格の変動等により損失が生じるおそれがあります（ファンドごとのリスクは異なります。必ず、各ファンドの目論見書にてご確認ください）。投資信託をご購入の際は、あらかじめ最新の投資信託説明書（交付目論見書）をお渡ししますので、必ず内容をご確認のうえ、ご自身でご判断ください。投資信託のお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリング・オフ）の適用はありません。なお、投資信託は預貯金とは異なります。ご購入時には各ファンドごとに設定された所定の手数料がかかります。

<所属金融商品取引業者の商号等>

商号等：楽天証券株式会社/金融商品取引業者関東財務局長（金商）第195号/商品先物取引業者

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会